

地域ニュース

八尾市は20日、市民らが投票した結果、「今年の漢字」に新元号「令和」の「令」に決まったと発表した。決定を受け、市立龍華コミュニティセンターで、府立八尾高校の書道部員が揮毫のパフォーマンスを行い、豪快な筆さばきで「令」を書きあげた。

豪快！八尾の「令」



今年の漢字「令」を揮毫した府立八尾高校の書道部員ら
〓八尾市

市「今年の漢字」高校生が揮毫

日本漢字能力検定協会（漢検、京都市）が京都・清水寺で発表する「今年の漢字」でも、「令」に決まっている。八尾市は平成28年から、市内に漢検の投票所を設置する一方で、独自に市内のみの集計で「今年の漢字」を発表している。

揮毫では、市民らが見守る中、八尾高校の書道部員5人が交代で一画ずつ書いていった。挑戦した書道部部长で、2年の喜多まいさん(17)は「力強く感じてもらえるよう書いた」と感想を語った。

作品は今月28日まで同センターで掲示され、喜多さんは「今年を振り返る機会になれば」と話していた。

投票は市立龍華図書館で行われ、計175票のうち、最多の「令」は27票。2位は「新」と「風」でそれぞれ10票。次いで「和」「災」だった。

過去の八尾市の「今年の漢字」は28年「金」、29年「命」、30年「災」で、29年以外は漢検と同じだった。